

視点 (901)

I Saw All America (その128) !! ポートランド物語 (ポートランドの特性)

環境共生都市「ポートランド」の都市としての特性は次の通りです。

(1) ポートランドの位置・特徴

ポートランドはアメリカ合衆国の北西端に位置するオレゴン州(カリフォルニア州とワシントン州の間)の最大の都市で、州の経済・金融の中核を担う中核都市です。

ポートランドは、近代的な都市機能を有すると同時に、市内の至るところに森が点在し、自然と文化の調和する美しい都市であり、その暮らしやすさから近年人口増加が著しい都市です。

ポートランドは、世界のグリーンシティ番付第2位(第1位は、アイスランドのレイキャビック)にランクされるほか、古くからバラの産地でもあり、毎年6月にバラ祭りが行われ、バラの街の愛称で親しまれています。

ポートランドは、市内人口56万人(2006年)、都市圏(ポートランドの所在するアルトノーマ郡に、周辺のクラッカマス郡、ワシントン郡を合わせたメトロと呼ばれる広域都市圏)の人口は214万人です。

(2) メトロという行政制度の特徴

メトロの内容

ポートランドと周辺の都市圏は、アメリカ合衆国で唯一の住民による直接民主制を導入した「メトロ」(Metropolitan Service District)と呼ばれる地域政府を構成しています。

メトロの具体的行動

- ・メトロの具体的な行動としては、土地利用計画、交通計画、ごみ処理リサイクル事業、公園・公共施設の運営管理、地図整備などの地域住民サービスを提供しています。
- ・こうした活動の結果、環境共生と同時に暮らしやすい都市機構が整備され、まちづくりの好事例として世界的にも注目を集める行政制度となっています。

メトロの7大原則

- ・安全で安定した地域社会
- ・自然とのふれあい
- ・芸術と文化とのふれあい
- ・きれいな空気と水
- ・健全な地域経済
- ・バランスのとれた交通機関
- ・次世代のための資源維持

(3) 経済・産業の特徴

ポートランド都市圏地域行政のメトロを中心に、環境保護政策を推進することでポートランドは全米で最も暮らしやすい都市の1つとして常に上位にランクされています。この取り組みは、生活環境改善に留まらず、経済・財政基盤の安定にも寄与する効果を与えています。

具体的には、充実した社会インフラ(交通網、電力、水)、良質な労働力(大学共通入試平均点全米一)、世界第2位の自然環境等を武器に企業誘致を進めた結果、現在ではインテル、グーグル等の先進企業1,700社がオフィスを構える他、ナイキ本社、アディダス等の有名企業も進出し、旧来の農林業が主体であった産業構造の転換に成功しています。

また、そうした高成長・高収益企業からの税収効果で財政基盤が安定し、オレゴン州は消費税(Sales Tax)がありません。さらに、凶悪犯罪発生件数も極めて低く、地域発展の好循環に入っているとと言えます。

(4) 都市構造上の特徴

都市構造的に見ると、中心市街地を基軸とするヨーロッパ型と郊外を基軸とするアメリカ型があります。ポートランドは、中心市街地はヨーロッパ型、郊外はアメリカ型と両者の良さを見事に取り入れたハイブリッド型の都市構造です。すなわち、中心市街地は車を必要としないまちであり、郊外は車社会に対応したまちです。誰でも非常に住みやすい都市がポートランドです。

[以上の内容は、日本百貨店協会・環境委員会の資料を参考にさせていただきました。]

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代 表 六 車 秀 之